

草津白根山の地殻変動*

Crustal deformation of Kusatsu-Shiranesan

防災科学技術研究所**

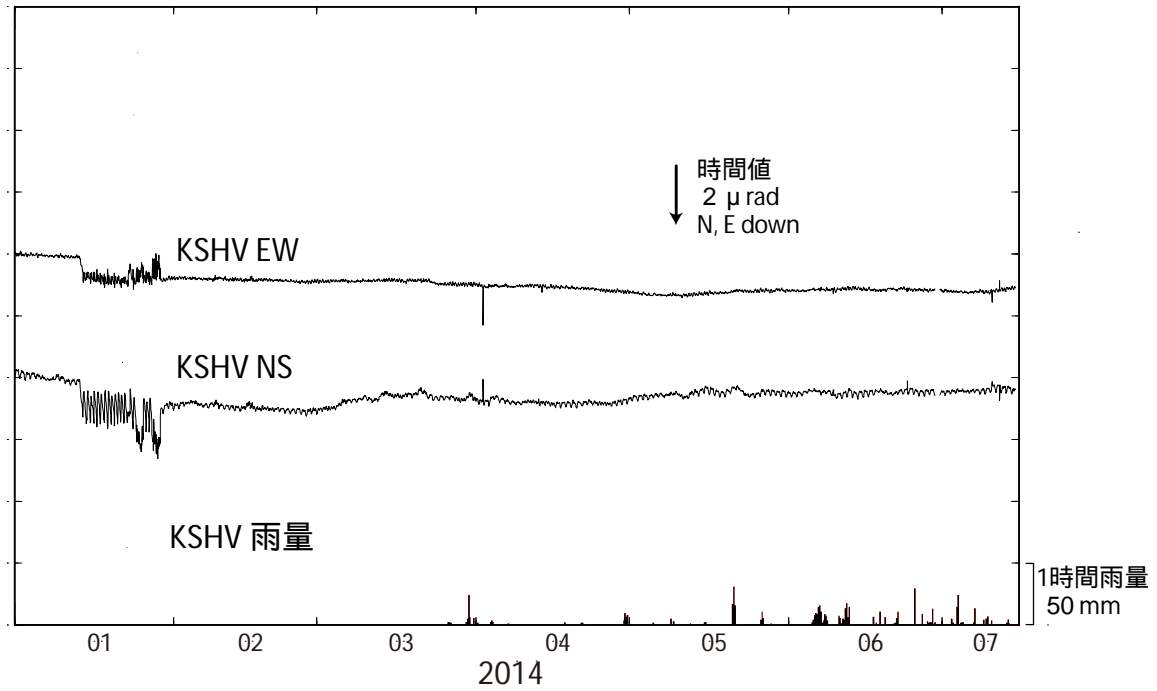
National Research Institute for Earth Science and Disaster Prevention

第 1 図は、防災科学技術研究所の草津白根山干俣火山観測施設(KSHV)に設置したボアホール式傾斜計のデータ(正時値)である。傾斜データには火山活動と考えられる変動は見られない。第 2 図は国土地理院GEONETとKSHVのGNSSデータの併合解析結果(基線長変化図)である。2014年4月頃からKSHVと草津白根山を挟むGEONET観測点との基線に伸びが見られる。7月13日までの基線長の伸びは1 cm程度である。第3図は、国土地理院の中之条観測点(0954)を基準とした草津白根山周辺のGNSS観測点の変位ベクトルである。変位ベクトルは、2014年1月と7月1日～13日の座標値の平均の差から計算した。この期間に草津白根山を中心とした膨張が見られる。

* 2014年7月16日受付

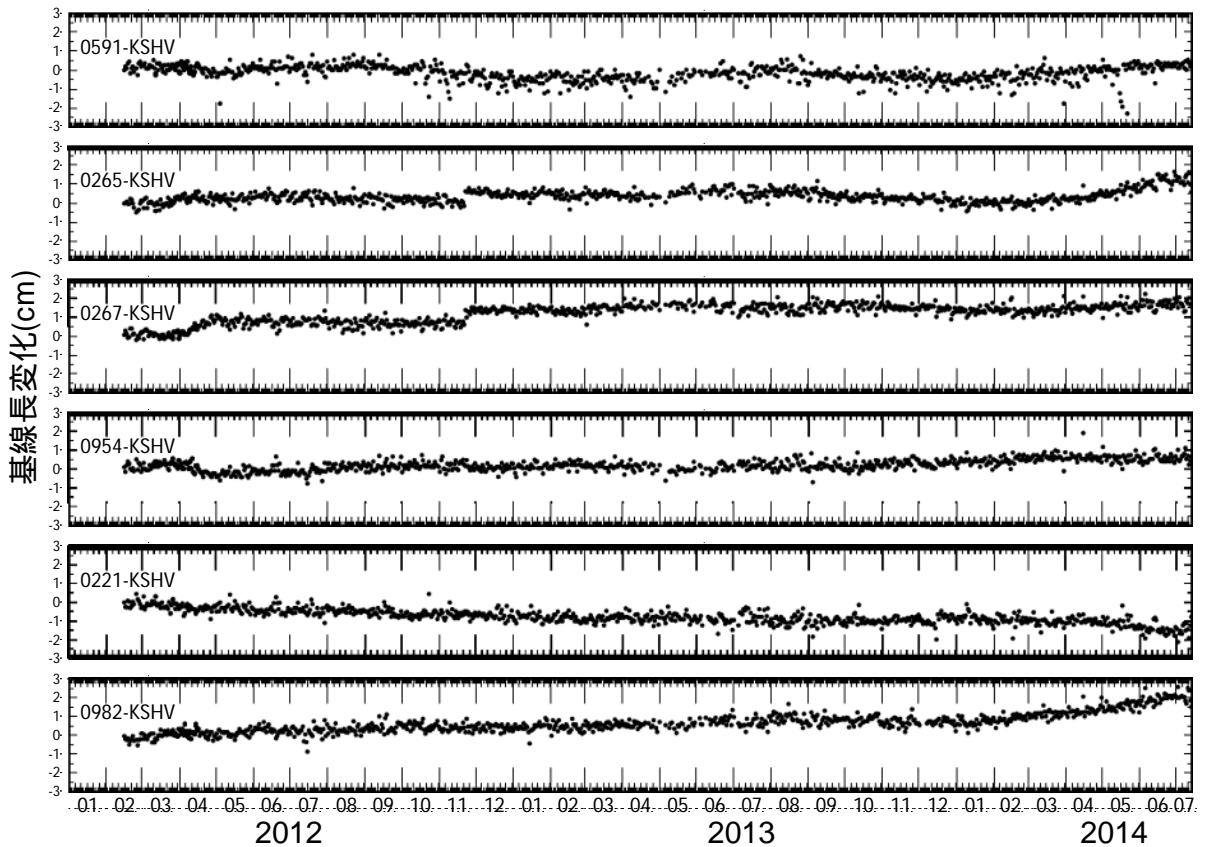
** 上田英樹, 棚田俊收, 宮城洋介, 藤田英輔, 長井雅史

Hideki Ueda, Toshikazu Tanada, Yousuke Miyagi, Eisuke Fujita, Masashi Nagai



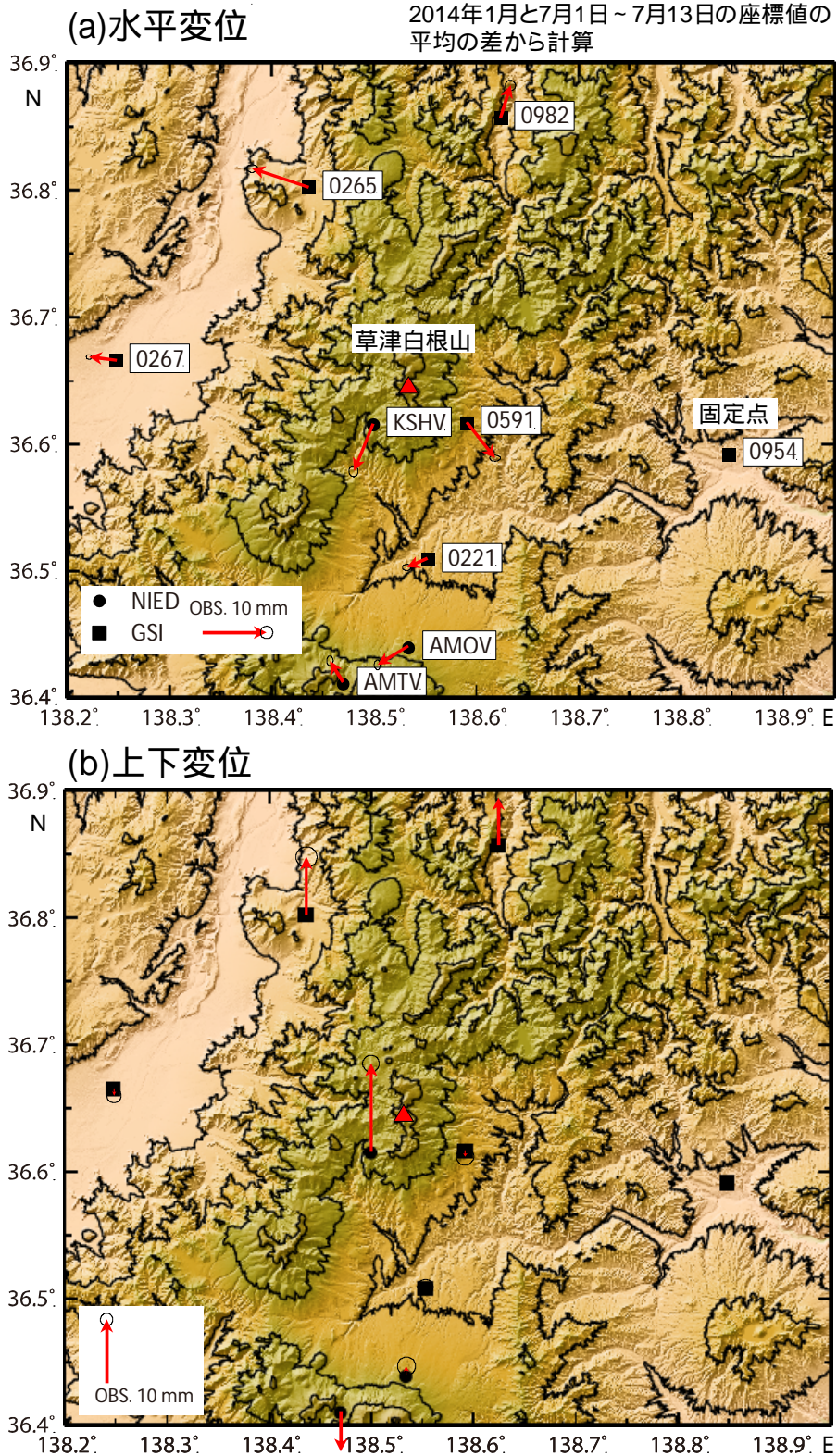
第 1 図 草津白根山干俣火山観測施設 (KSHV) の傾斜変動。表示期間は 2014 年 1 月 1 日 ~ 7 月 15 日

Fig. 1 Tiltmeter data of KSHV station for the period from January 1 to July 15, 2014.



第 2 図 草津白根山干俣火山観測施設 (KSHV) と国土地理院 GEONET 観測点間の基線長の変化。観測点の位置は図 2 参照。表示期間は 2012 年 2 月 15 日 ~ 2014 年 7 月 13 日

Fig. 2 Baseline length changes between GNSS stations of NIED and GIS for the period from February 15, 2012 to July 13, 2014.



第 3 図 国土地理院の中之条観測点(0954)を基準とした草津白根山周辺の G N S S 観測点の変位ベクトル。2014 年 1 月と 7 月 1 日～13 日の座標値の平均の差から計算した。本解析には国土地理院のデータを使用した。この地図の作成にあたっては、国土地理院発行の数値地図 50mメッシュ(標高)を使用した。

Fig. 3 Displacement vectors of GNSS stations of NIED and GSI relative to 0954 station (January 2014 ~ July 2014)